# 令和3年度協働の地域づくり推進方針(案)

# 令和3年8月4日 第1回荒尾市地区協議会会長会資料

# 協議事項

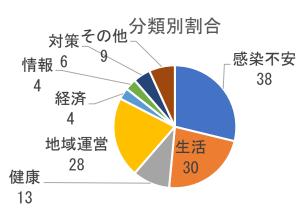
①新型コロナウイルスへの対応について

②地域情報発信について

③協働の地域づくり交付金や今後の予定について

## 1. 新型コロナによる地域活動への影響 (R2.6アンケート結果)

## 〇新型コロナウイルスの影響で困っていること、不安に思っていること

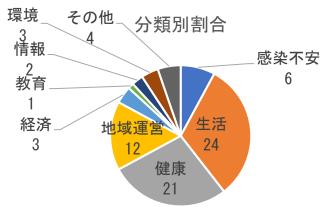


#### O多かった意見

- ・感染した場合の責任がとれない
- ・コミュニケーションがとれない
- 感染しないか不安
- ・外出、人が集まる場所に行くのが怖い 筡

■感染不安 ■生活 ■健康 ■地域運営 ■経済 ■情報 ■対策 ■ その他

## 新型コロナウイルスの影響でご近所や地区内の知人が困っていること



- ■感染不安■生活
- ■健康
- ■地域運営■経済

■教育

- ■情報
- ■環境
- - ■その他

#### 〇多かった意見

- ・高齢者の方のコミュニケーションの場がなくなることが心配
- ・高齢者の運動不足が心配
- ・地域の連携・コミュニティが希薄になる
- ・顔を合わせたコミュニケーションができない 等

対面のコミュニケーションに難しさを感じながらも 健康づくりなどの活動に関心が集まっている

## 県リスクレベル毎の各地区の会議・行事(屋内・屋外)の開催率

	会議		行事			
県リスク	開催	中止	屋内		屋外	
レベル	用消生	十二	開催	中止	開催	中止
5 厳戒 警報	59% (26件)	41% (18件)	33% (2件)	67% (4件)	65% (17件)	35% (9件)
4 特別 警報	90% (9件)	10% (1 <b>件</b> )	50% (1件)	50% (1 <b>件</b> )	57% (4件)	43% (3件)
3 警報	91% (29件)	9% (3件)	27% (3件)	73% (8 <b>件</b> )	56% (29件)	44% (23件)

県リスクレベルが現在の基準となったR2.10.28から、R3.7.31までの期間の会議や行事

- 〇会議はリスクレベル5においても時間短縮・人数制限等を行いながら一定程度開催
- ○屋外の行事はリスクレベルが高い場合も開催率が高い(ウォーキング、グラウンドゴルフ等)
- ○各種まつり・敬老会など、規模が大きな行事等は再開が難しい状況が続いている

## 新型コロナワクチンの接種状況について

	接種回数(R3.7.26時点)		
接種対象者	接種1回目	接種2回目	
高齢者 (65歳以上)	85.4%	71.4%	
一般 (12歳以上64歳以下)	19.9%	10.8%	
全体 (12歳以上)	45.9%	34.9%	

数値はワクチン接種記録システムに登録された接種状況を集計したものです。あくまで速報値であるため、実際の数値とは差異がある場合があります。

- 〇R3.4月以降、高齢者等から順次接種券を発送し、ワクチンの供給状況を考慮しながら接種を推進している状況(集団接種・個別接種)
- OR3.8月にはグランメッセ熊本(益城町)に県民広域接種センターが開設

### 2.地域情報発信支援事業 ~地域情報の発信方法・内容の見直し支援~

地域活動を行う中で必要不可欠な「情報発信」

これに関し、デジタル技術を活用し「不便さ」「手間の多さ」「大変さ」「不満」などを減らすとともに、若い世代への地域活動のPRを図ることを検討します。

また、各地区の共通課題に対し、情報伝達を通じた解決方法を検討する為の事業を行います。

#### 【期待する事業の効果】

### ①事務の 効率化

- ・事務負担及び事務費を減らす。
- ・コロナ以降、国はもちろん、市町村単位でも行政DX(デジタルトランスフォーメーション:デジタル化による生活やビジネスの変容)が進むことへの対応。

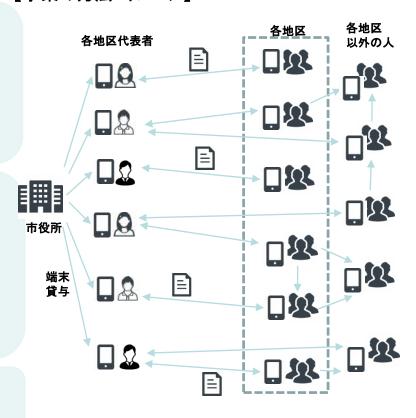
### ②地域 活動のPR

- ・より多くの人に確実に伝える手段を考える。
- これまで関係ないと思っていた人が参加できるよう活動を見直し、可能性を広げる。
- ・参加しやすい活動内容を考える。(時間・場所)
- ・地域の特性を活かした活動のPRを行う。

### ③担い手 の育成

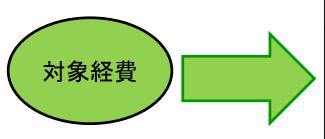
- ・若い世代の参加を促す情報提供を行う。
- ・活動を通じ地域に愛着を持つ人を増やす。

#### 【事業の方法:イメージ】



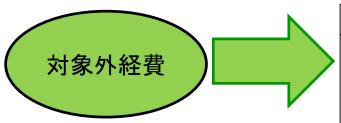
各地区の情報発信の現状や課題の把握を行い、発信媒体に基づき、効果的と見込まれる手法の提案や導入支援を行います。(9月以降)

## 3. 協働の地域づくり交付金の対象経費及び活用例について



#### ·対象経費

事務関係(事務用品、会議会場費、郵便料金など) 備品関係(イベントに使用する備品、のぼり、草刈り機など) イベント関係(燃料費、講師謝金、ステージ設置費用など) 飲食関係(弁当代、お茶代)



#### ·対象外経費

事務関係(お歳暮、慶弔費、私物の携帯電話代) 飲食関係(飲み会、懇親会) その他(公民館建設費、不動産の購入、積立金)

### 〇交付金の活用例

- ◆イベント行事関係
  - ・密を避けるため、期間を設定したウォークラリーイベントの実施
- ◆設備·備品関係
  - ・事業実施のための感染症対策物品(消毒液等)の購入
  - ・防災用品を備蓄する倉庫やテントの購入、交通安全の周知看板設置
- ◆その他
  - ・住民の生活利便性向上のため地区内飲食店・事業所等のエリアマップ作成
  - ・ 荒尾市地区別計画の印刷、配付

# 今後のスケジュール(案)について

令和3年12月 第2回荒尾市地区協議会会長会

令和4年1月 視察研修

※感染拡大状況によっては、オンラインでの開催も検討

### 【視察研修の過去の開催状況】

H28年度: 久留米市 鳥飼校区まちづくり協議会

H29年度:議員との意見交換会及び市長との意見交換会を

行ったため実績無し

H30年度:宗像市赤間西区(赤間西区コミュニティセンター)

H31年度:佐賀市 地域コミュニティサイト「つながるさがし」